

令和4年度 安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議録

開催日時	令和4年7月14日（木）午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	安中市役所本庁舎3階 委員会室（安中市安中一丁目23番13号）
出席委員 （敬称略）	佐藤公俊（会長）、萩原俊一（副会長）、濱野あゆみ、緑川悦子、岩井一夫、竹下裕理、神戸るみ（計7人）
欠席委員 （敬称略）	渡辺二美子、神澤克彦、茂木三枝（計3人）
事務局等	〔秘書政策課〕田中課長、平室長、齋藤主任
傍聴者	0人

●会議内容

1 開会（午前10時00分開会）

2 あいさつ 秘書政策課長 田中 秀人
会長 佐藤 公俊

3 議事〔議長：会長〕

（1）令和3年度の実施状況報告

事務局説明

事務局	<p>資料No.2・3、追加資料（総合計画市民アンケート調査結果 概要版）により説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料3、総合戦略-13頁以降に分野ごとに指標と目標値を定めている。この数値について、令和3年度の実績状況を報告する。 ➤ 資料2「令和3年度実施状況報告」に従って説明する。 ➤ 「展開方針1：産業を育て安心して働ける環境をつくる」について ➤ 基本目標は、「市内事業所数」「年間商品販売額」「製造品出荷額等」。目標に対する令和3年度時点における実績は、市内事業所：2,300事業所、製造品出荷額等：319,349百万円。 ➤ この展開方針を達成するため、施策ごとの目標が設定されている。項目は、「施策1：市内で働く人を増やす就職支援」「施策2：農業の成長産業化」「施策3：雇用を生み出す企業誘致の促進」「施策4：創業や経営革新に対する支援」である。 ➤ 順調に推移していると考えられるものは、有効求人倍率や農林業鳥獣被害額、6次産業
-----	--

化支援件数、起業・創業相談者数などがあげられる。

- 一方で、進行に課題があると感じるものは、耕作放棄地解消対策や企業誘致関連の事業などがあげられる。
 - 企業誘致や創業支援などを推進するとともに、既存の事業者への支援も引き続き実施していくことが重要である。また、農業の分野では、耕作放棄地対策についても有効な手段を検討していかなければならない。
-
- 「展開方針 2：安中市に行きたい・住みたい人を増やす」について
 - 基本目標は、「市内観光地における観光客数」「転入者数」。令和 3 年度の実績は、観光客数：90 万人、転入者数：1,287 人。
 - 施策ごとの目標は、「施策 1：地域資源を活かした観光産業の振興」「施策 2：安中市への移住・定住支援」「施策 3：関係人口の創出・拡大」「施策 4：安中市への資金の流れの創出・拡大」。
 - 空き家バンク契約数やふるさと納税、企業版ふるさと納税は順調。
 - 一方で、観光関連の事業などは、コロナ禍の影響もあり低い実績である。
 - 「行きたい」という観光分野や「住みたい」という移住定住分野はターゲットについて重なる部分もあれば、異なる部分もある。情報発信を十分に行い、関心を持つ人が増えるような取組を進めていかなければならない。
-
- 「展開方針 3：結婚・出産・育児を応援する環境をつくる」について
 - 基本目標は、「未婚率」「合計特殊出生率」「5 歳未満人口数」。令和 3 年度の実績は、合計特殊出生率：1.24、5 歳未満人口数：1,366 人。
 - 施策ごとの目標は、「施策 1：結婚のきっかけづくり」「施策 2：妊娠・出産に対する支援」「施策 3：子育てに係る経済的・精神的負担の軽減」「施策 4：男女共同参画の推進」。
 - 妊娠・出産関連では、妊婦健診の必要性を訴えることで受診率の向上に努めたり、パパママ教室をオンラインで実施したりと工夫している。一方で、結婚支援については、婚姻件数が少ない。
-
- 「展開方針 4：子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」について
 - 基本目標は、「子育て支援サービスに満足していない割合」「子育て施設の整備状況に満足していない割合」「子育て支援に関する情報提供体制に満足していない割合」。令和 5 年度にアンケートを実施するまでは、数値の把握をすることが出来ない。
 - 施策ごとの目標は、「施策 1：子育てを楽しむ多様な交流促進」「施策 2：地域で助け合う子育て環境の整備」「施策 3：子どもの成長をとともに支える保育環境の整備」「施策 4：子どもの健康を守るための保健・医療の実施」。
 - スマイルパークの利用者数は 25,411 人と高い実績である。今後は、利用者が継続して

	<p>来園する満足度を高めていくことが求められる。支援を開始したひきこもり者のいる家庭数は 29 件で、ひきこもり家族教室や当事者会を実施するなど積極的に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「展開方針 5：人口減少に対応し自立した地域をつくる」について ➤ 基本目標は、「安中市が住みやすいと思う市民の割合」。令和 3 年度の実績は 55.6%と基準値の 55.9%を下回る結果となった。 ➤ 施策ごとの目標は、「施策 1：市民の暮らしを守る住環境の整備」「施策 2：市民の力によるコミュニティの強化」「施策 3：高齢者の活力を活かした持続可能なまちづくり」。 ➤ オンラインで可能な行政手続件数は 34 件実施している。また、世帯当たりの太陽光発電設置割合は、0.34 と目標を上回っている。令和 3 年度から蓄電池の購入に対する補助と組み合わせたことで補助金の申請数が増加した。一方で老人クラブは、会員数を増やすために何が必要であるか確認する必要があり、今後実施するアンケートの活用が重要である。 ➤ 全体を通して、「安中市が住みやすいと思う市民の割合」の数値が減少していることから、住みやすいまちづくりには、より一層の充実・強化が必要である。
--	---

質疑応答等

会 長	何か質問や意見はあるか。
委 員	スマイルパークはケルナー遊具の設置が遅れている。今後の展望を知りたい。
事務局	ケルナー遊具は、今後設置の予定である。園内には芝生エリアだけでなく、畑などもあり、現在の施設でも子どもから高齢者まで多世代の交流ができています。体験型のイベントなど工夫を凝らし、来園者数の実績からも順調な運営ができていると考える。何度も来園する施設となるよう、更なる魅力を高めていかなければいけない。
委 員	「安中市が住みやすいと思う市民の割合」について、不満を感じるものはどのような意見が多かったのか。
事務局	追加資料：「総合計画市民アンケート調査結果 概要版」を配布。 アンケート結果より公共交通と医療体制については、満足度、重要度が低い結果となっている。回答は高齢者の割合が非常に高いが、年齢別に分析する必要性も感じており、十分に分析し、施策に活かしていかなければならない。
委 員	「遊休農地面積割合」について、令和 3 年度の実績が著しく低くなっているのはなぜか。また、目標値は変更するのか。
事務局	遊休農地の基準が変わったことが理由であり、基準値時点では、A 分類農地（再生利用が可能な荒廃農地）と B 分類農地（再生利用が困難と見込まれる荒廃農地）を合算した数値を調査して、遊休農地としている。令和 3 年度以降は A 分類農地の割合のみを調査する手

	法に変わった。基準値及び目標値を変更する必要があるかどうかについては、今後検討したい。
委員	「観光情報を発信した市 SNS の 1 日の平均閲覧件数」について、SNS は何を使っているのか。
事務局	現在、市で運用している SNS は、ツイッター・インスタグラム・ライン・ユーチューブである。しかしながら、令和 3 年度の集計はツイッターのみである。その他のツールについては、令和 4 年度の実績より集計することとしている。ツイッターによる観光情報の発信については、基準値時点が一年間で約 40 件発信していたが、令和 3 年度は 20 件程度のみであった。
委員	インスタグラムについては、インサイトの分析が可能な設定に変更して、活用した方が良い。プロアカウントでの運用が望ましい。
委員	ドローンを活用した観光情報（碓氷峠や裏妙義など）の発信を推進した方が良い。
委員	SNS を見ると写真が多いが、動画は少ないように感じる
事務局	ドローンについては導入予定である。観光情報発信における活用も検討する。
会長	「合計特殊出生率」と「5 歳未満人口数」については、相互の数字に連動性はないかもしれない。目標値も達成が困難と思われる。今後の方針を検討していただきたい。 「老人クラブ」や「老人センター」については、「老人」より「高齢者」の表現の方が良いのではないか。
事務局	検討する。「老人」については、名称がそのようになっている。
委員	「障害就労支援施設から一般就労へ移行した人数」について、詳しい状況は把握しているか。
事務局	数値での把握のみである。
委員	障害者支援施設の数 は市内で増加している。今後、労働力が減少していく中で、障害者の就労先の確保は、まちづくりにおいて大切なことではないか。住みやすいまちを実現するためにも積極的に取り組んでもらいたい。企業側の、障害者への理解を深めるための取組を進めてもらいたい。
委員	達成度については数値目標だけに縛られてはいけない。また、令和 8 年度まで目標がある中での、現在の状況をしっかり分析してほしい。担当者の声も聴いてみたい。
会長	目標を達成することがすべてではない。「質」が大事である。「質」についてこの場で報告されることに意義があると感じる。報告を通じて、毎年の変化に注目したい。

(2) 第 2 期安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基準値・目標値の修正について

事務局説明

事務局	資料No.3・4 により説明
-----	----------------

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料4の正誤表に従って説明。 ➤ 「従業員数」について、基準値18,801人、目標値20,000人としていた。経済センサスの結果を引用しているが、その中の資料の選定に誤りがあり、基準値を22,868人とすべきことが判明したため変更する。これに関連して、目標値も24,300人と修正する。 ➤ 「空き家バンクの契約件数」について、基準値40件としていましたが、集計誤りが判明し、基準値を52件と修正する。 ➤ 「農地付き空き家の登録件数」について、集計誤りがあったことから、基準値を10件、目標値を令和3年度から令和8年度までの期間で60件と修正する。 ➤ これらは、令和3年度の実施状況によって、目標値を修正するものではない。計画策定時の基準値の算定に誤りがあったことから修正するものである。 ➤ 今後は、(1)で意見があったように、実施状況を踏まえた、基準値の変更を検討したい。
--	---

質疑応答等

会 長	<p>基準値の修正等を行う場合、原案を示してもらい、当会議で議論する方法が良いと思われる。</p> <p>質問などはあるか。→なし</p>
会 長	<p>以上をもって議事を終了とする。ここで議長の任を解かせていただく。</p>

4 その他

委 員	<p>4月に新市長となったが、産業団地の整備や高校生の医療費無料化など市長の公約と、総合戦略の項目との関係性についてはどのように考えているか。現在の内容で令和8年度まで推進するのか。</p>
事務局	<p>現在の方針は決まっていない。今後、市長とも打ち合わせを行い、第2次安中市総合計画の見直し方針も含めて決めていく予定である。総合計画との一本化などの検討については、事前に提案する。</p>
委 員	<p>総合戦略の変更や修正については、その過程で案を提示してもらいたい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
事務局	<p>今後についても毎年、実施状況の報告を推進会議で行う。計画の進行についてご意見等があれば、連絡をいただきたい。</p> <p>また、委員の任期については9月末までとなっている。今後の方針について、後日、文書・メール等で連絡させていただく。</p>

5 閉会（午前 11 時 00 分閉会）